

観光課文化財室から  
**玉簾山清見寺 町指定文化財**  
**「木造千手観音立像」開帳法要のご案内**

長田にある玉簾山清見寺において、ご本尊で秘仏の「木造千手観音立像」の開扉開帳法要が執り行われます。この秘仏は、12年に一度の子の年だけに、公開されます。観音像の手から伸びる布ひもに触り、良縁や無病息災を願います。

町指定文化財である「木造千手観音立像」を、この機会にぜひご覧ください。



▲木造千手観音立像

◆日時 3月15日(日)  
 10時～17時まで  
 (法要は10時から)

◆場所 玉簾山清見寺(大山町長田)



▲前回の法要の様子

★清見寺周辺に臨時駐車場を用意しておりますが、台数に限りがありますので、乗り合わせの上、お越しください。

★当日は、お茶席等を準備しています。こちらもお楽しみください。

**玉簾山清見寺**

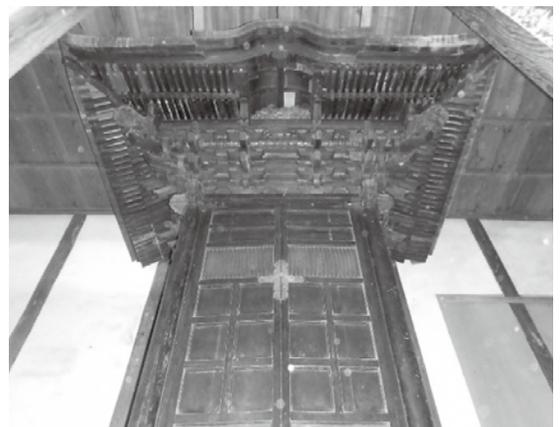
『大山寺縁起』によると、后となり、妻木に朝妻寺を建立した玉清姫が逝去の後に、御本尊として千手観音が納められました。それを後に玉谷(長田地内)の地へ移し、祀ったのが始まりと伝えられています。

1600年代後半には、鳥取藩主池田光仲公の病や、家老の娘の失明が、入江介次郎の祈願で完治しました。その霊験に、光仲公が、甚だしく破損していた堂宇を、現在の地に再建して「玉簾山清見寺」と号しました。

明治の廃仏毀釈により、一度は荒



▲玉簾山清見寺



▲厨子 ※正面から見上げた様子  
 観音立像が安置されています

**木造千手観音立像**

廃しましたが、長田住民の支えにより現在に至っています。

室町時代の作と伝えられていますが、作者は不詳です。寄木造で檜材に浅く彫られた技巧は優美さを表現し、やや右に傾けることにより動きを表現しています。観音立像は、柿苺(かきご)の大きな厨子に秘仏として安置されています。

(観光課 文化財室)

【主催】

長田自治会(会長 入江哲史)

◆問い合わせ先

事務局・磯崎

☎090・6895・3024